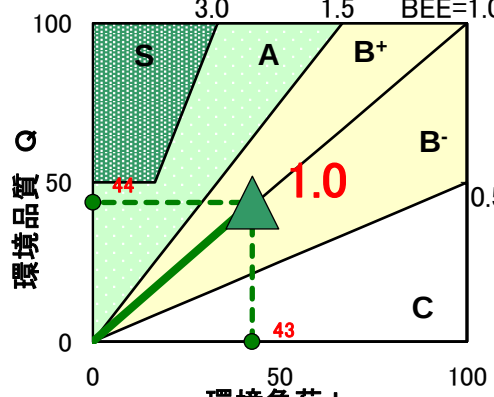
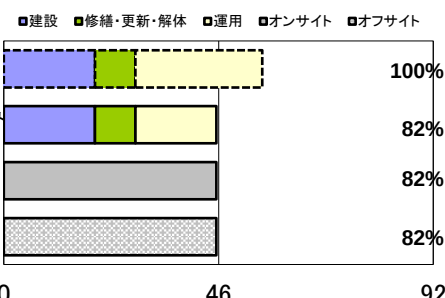
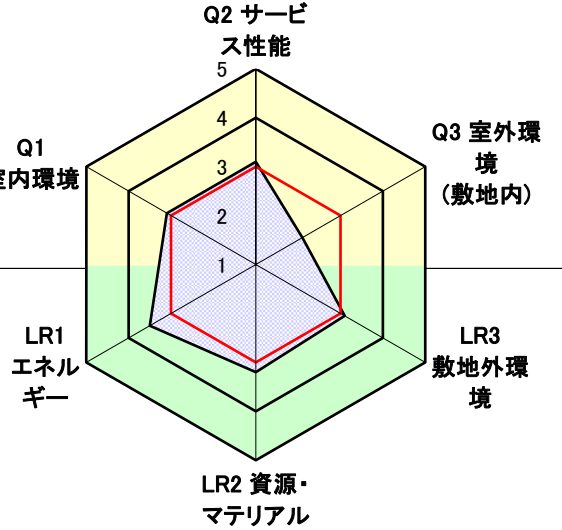
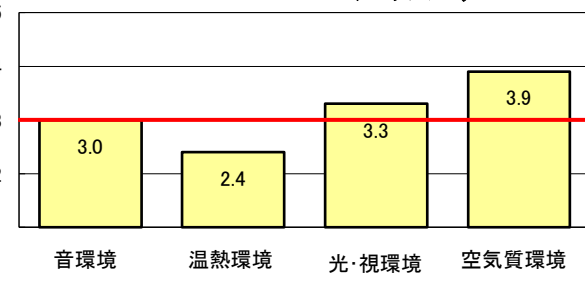
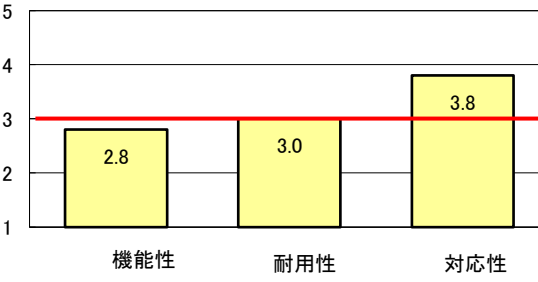
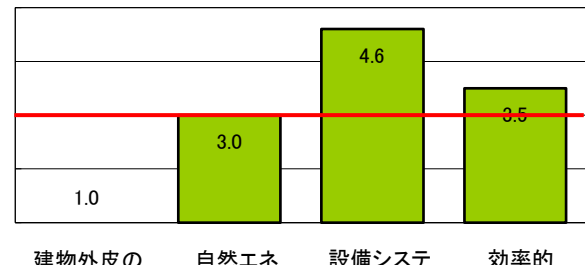
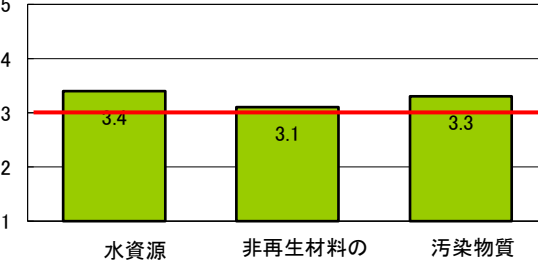
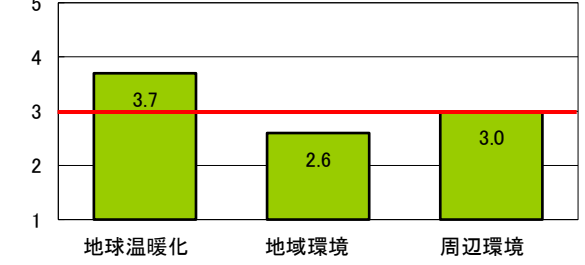


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要				1-2 外観			
建物名称	東芝デバイス&ストレージ株式会社		階数	地上2F		外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください	
建設地	兵庫県揖保郡太子町鶴字倉垣内30		構造	S造			
用途地域	工業地域		平均居住人員	183 人			
地域区分	6地域		年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)			
建物用途	工場,		評価の段階	竣工段階評価			
竣工年	2025年2月 予定		評価の実施日	2025年2月3日			
敷地面積	9,459 m ²		作成者	05316-27 千葉 保			
建築面積	4,760 m ²		確認日	2025年2月4日			
延床面積	9,389 m ²		確認者				
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)				2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)			
BEE =1.0 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★ 				★ ★ ★ ★ ★ 30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★ 標準計算  このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです			
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)							
2-4 中項目の評価(バーチャート)							
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.1  Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.1  Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.1 							
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.5  LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2  LR3 敷地外環境 LR3のスコア=3.1 							
3 設計上の配慮事項							
総合 半導体製造工場として、必要な空間(大部屋、階高)・環境(清浄度、温熱、作業照度、インフラ供給など)を確保するよう計画設計を行う。							
Q1 室内環境 製造エリアには窓がないため、一般執務室には十分な窓を設置		Q2 サービス性能 製造室は装置レイアウトに合わせ、面積、天井高を確保		Q3 室外環境(敷地内) 建築設備を屋上に配置			
LR1 エネルギー 照明は全館LEDを採用		LR2 資源・マテリアル 節水型便器を採用		LR3 敷地外環境 工場全体で污水排水・廃棄物処理負荷抑制に取り組み実施			

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される